

令和6年度 事業報告

■事業実施状況の概要

令和6年度事業計画に基づく事業実施状況概要を下表に示す。

令和6年度 事業計画実施状況(3月末現在)

項目	実施状況
1.普及啓発事業	
(1)広報・出版活動	
1)「環境技術会誌」季刊発行	
第195号(令和6年4月)	・発行済(特集:DXの進展－廃棄物処理分野におけるDXと近未来)
第196号(令和6年7月)	・発行済(特集:DXの進展－廃棄物処理の効率化・運転の最適化)
第197号(令和6年10月)	・発行済(特集:DXの進展－廃棄物処理の現場における安全管理)
第198号(令和7年1月)	・発行済(特集Ⅰ:DXの進展－廃棄物処理分野の安全安心・魅力ある職場づくり、特集Ⅱ:し尿・汚泥再生処理施設の維持管理の現状・課題・今後)
2)ホームページの運営	・随時更新中(補助金交付事業、普及啓発等事業)
3)メールマガジンの配信	・毎月1回配信(通巻No196 3月号まで配信済)
(2)研修会・講習会の実施	
1)廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会	・第45回(令和6年度)中央研究集会 テーマ「循環経済への移行－廃棄物処理のX(変革)を考える」令和6年11月13日13-16時実施(11月7日リハーサル)
2)第3回会員無料WEB講習会	・Web講習会(会員参加無料)「廃棄物処理に関わる最近の動向－脱炭素化への挑戦」(令和7年2月19日実施、(2月17日リハーサル)
3)技術管理者CPDSの実施	・常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し技能の向上が技術管理者にとって重要であることから、新しいCPDS運営委員会を立上げ、更新講習や今後の予定も含めて検討を実施。(第1回委員会 5/10開催、第2回委員会 9/12開催、第3回委員会 12/6開催)
4)廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会((一財)日本環境衛生センター共催)	・令和6年11月1日(金) リファレンス駅東(福岡) ・令和6年12月18日(水) 岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)(岡山) ・インターネット研修;オンディマンド配信(1月20日～3月31日)
(3)各種表彰	
1)環境大臣表彰	・上元 周馬氏(一廃)、高橋 潤氏(産廃)の2名を廃棄物関係事業功労者推薦・表彰
2)生活と環境全国大会大会長感謝状	・嘉数末広氏、塚越浩氏、古川幸司氏の3名を推薦・表彰
3)会長感謝状	・小林正自郎氏、瀬戸口正海氏、古井亨氏、三田和広氏、善宝正文氏(特別功労賞)の5名を総会(令和6年6月19日)の場で表彰。
4)年間論文賞	・令和6年2月19日に論文賞審査委員会を開催・選考後、運営委員会にて承認(表彰日は、令和6年6月19日の総会の場にて表彰)。 令和6年度分は、令和7年2月26日の論文賞審査委員会で選考。
5)その他	・毎月勤労統計調査(事業所)への協力に対し、技管協が厚生労働大臣表彰を受賞(伝達式;11/19東京都庁第1本庁舎 古澤参加)。

令和6年度 事業計画実施状況(3月末現在)

項目	実施状況
(4) 地域協議会活動への支援 1)助成金 2)講師派遣 3)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域協議会に対して、行事呼びかけ(中央研究会協賛など)・講師派遣並びに財政的支援を実施予定。 1)助成金:東京都、滋賀県、山梨県、山形県に助成。 2)講師派遣依頼:山形県廃棄物処理施設技術管理者会から講師紹介依頼あり(荻原氏を紹介、10/4実施) 3)総会挨拶の出席依頼:東京都地域協(9/5 羽染挨拶) 4)東京都地域協視察参加(11/25 古澤、清水)
2. 調査・研究事業 環境省補助金交付事業	<ul style="list-style-type: none"> 1)R6エネルギー回収型施設新設事業1件(R4からの継続事業1件) 2)R6エネルギー回収型施設改良事業8件(ほか継続事業19件) 3)R6廃棄物発電電力利活用設備導入事業0件 4)R6廃棄物処理熱利活用設備導入事業2件 5)R6廃棄物処理熱等有効利用実現可能性調査事業0件 *R6年度間接補助事業執行団体に申請・認証済 *MOE R6年度中間監査(12/20) *MOE R7年度間接補助事業執行団体に申請書提出(2/3)、4月1日付承認
3.技術支援事業	
1)相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ・数件の電話、相談(メール対応含む)に対応。
4.事業推進のための会議等	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回定時社員総会:令和6年6月19日(連合会館) ・第42回理事会;令和6年5月17日(連合会館) ・第43回理事会;令和7年3月18日(連合会館) ・第1回運営委員会(第1回CPDS運営委員会同時開催):令和6年5月10日(日環セ東京事務所) ・第2回運営委員会(第2回CPDS運営委員会同時開催):令和6年9月12日(日環セ東京事務所) ・第3回運営委員会:(第3回CPDS運営委員会同時開催)令和6年12月6日(日環セ東京事務所) (役員選出委員会同時開催:令和6年12月6日) (代議員選挙管理委員会同時開催:令和6年12月6日) ・第4回運営委員会:令和7年3月7日 (役員選出委員会同時開催:令和7年3月7日) (代議員選挙管理委員会同時開催:令和7年3月7日) ・編集委員会:令和6年11月27日 ・論文賞審査委員会:令和7年2月26日
5. 事務所移転の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・移転作業;9月28日～30日(10月1日～新事務所)
6. その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行
7.関係団体への協力等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物団体連合会など関連団体への協力 ・第68回 生活と環境全国大会の協賛 ・その他関係団体の行事等の協力
8.組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の健全化(入会促進、新規事業の推進)

■令和6年度事業報告

1. 普及啓発事業

(1) 広報・出版活動

1) 「環境技術会誌」の季刊発行（4月、7月、10月、1月）

紙面の充実を図りながら会員へのサービス向上を目的として、年4回発行した。

本年度は、特集として「DXの進展」を各号で取り上げ、令和7年1月（第198号）では、特集Ⅱとして「し尿・汚泥再生処理施設の維持管理の現状・課題・今後」をテーマとして編集した。

第195号（令和6年4月）

第196号（令和6年7月）

第197号（令和6年10月）

第198号（令和7年1月）

（主な記事）

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・環境省等行政資料
- ・現場からの寄稿（廃棄物処理施設紹介；おじゃましまーす、JEMAレポート）
- ・賛助会員のコーナー
- ・国内・海外の廃棄物関連情報・新刊図書紹介など

2) ホームページの運営

廃棄物の処理技術等に関する情報の提供、会員との情報交流並びに当協会の情報公開の場として運営を行っている。

現在「会員のページ」には、廃棄物処理法入門コーナー、メールマガジンのバックナンバー、調査報告書等に加え、全方位検索型環境法令集を掲載している。

3) メールマガジンの配信

季刊「環境技術会誌」の補完及び会員へのスピーディな情報発信のため、会員等の希望者（約1,950名（会員以外 約60%含む））に毎月メールマガジンを配信している。

(2) 研修会・講習会の実施

1) 第45回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者等 CPDS 認定講習会、地域協議会協賛）

本集会は、会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催した。

日 時：令和6年11月13日

会 場：WEB会議形式にて開催、参加者約80名

テーマ：循環経済への移行－廃棄物処理のX（変革）を考える

オンデマンド配信：令和6年12月2日～12月27日

2) 第3回会員無料WEB講習会の実施（技術管理者等CPDS認定講習会）

近年における学習形態の変化への対応、現場の課題解決に資する情報の発信強化のため、技術管理者等を対象とした講習会第3回（パネルディスカッションを含む）をWEB会議形式で開催した。オンデマンド配信するとともに、成果の一部を当協会「環境技術会誌」に掲載した。

日 時：令和7年2月19日

会 場：WEB会議形式にて開催、参加者約100名

テーマ：廃棄物処理に関わる最近の動向—脱炭素化への挑戦

パネルディスカッションのテーマ：持続可能な廃棄物処理—今求められる技術管理者の役割

オンデマンド配信：令和7年2月26日～3月25日

3) 廃棄物処理施設技術管理者等継続学習認定制度（CPDS）の実施

平成24年度から実施している継続学習認定制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development Systemの略）を実施した。

本年度は、新しい「廃棄物処理施設技術管理者等継続学習制度運営委員会」を立ち上げ3回に亘る審議を実施し、現状における課題「更新申請の仕方」や「義務不履行救済のための研修」及び「今後の運営の仕方」など、より参加しやすい継続学習の在り方等について検討を行った。

これらの検討結果により、運営委員会及び第43回理事会の承認を得て、CPDS関連規程類の改正及び「廃棄物処理施設技術管理者等CPDSガイドブック」を第3版から第4版に改正し、令和7年度から新たなスタートとする。

4) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者等CPDS認定講習会）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催で実施した。

福岡会場：令和6年11月1日（金）

岡山会場：令和6年12月18日（水）

オンデマンド配信：令和7年1月20日～3月31日

(3) 各種表彰

1) 環境大臣表彰の推薦

環境大臣表彰の中央推薦の基準に基づき当協会会員等を推薦し、上元周馬氏（一廃）、高橋潤氏（産廃）の2名が受賞した。

贈呈式：第68回生活と環境全国大会（令和6年度）

（神奈川県横浜市神奈川県民ホール、一廃部門）

第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会

（岐阜県岐阜市 岐阜グランドホテル、産廃部門）

- 2) 第 68 回生活と環境全国大会（令和 6 年度）大会長感謝状受領者の推薦
大会長感謝状の中央推薦枠として、嘉数末広氏、塚越浩氏、古川幸司氏
の 3 名を推薦し、受賞した。

贈呈式：神奈川県横浜市 神奈川県民ホール

- 3) 会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り、当協会の発展に尽力した会員 5 名（古井亨氏、小林正自郎
氏、瀬戸口正海氏、三田和広氏、善宝正文氏（特別功労賞））に対し、会
長感謝状を贈呈した。

贈呈式：令和 6 年 6 月 19 日 定時社員総会会場

- 4) 年間論文賞（令和 6 年度分）の表彰制度

会員からの環境技術会誌、地域協議会会誌への投稿を対象とした優秀な
論文を表彰する。

この賞は論文賞審査委員会において選考し、最優秀賞 1 編、優秀賞 2
編、奨励賞 1 編、特別賞 1 編の合計 5 編が運営委員会において決定され
た。

表彰式：令和 7 年 6 月 19 日 定時社員総会会場

- 5) 厚生労働大臣感謝状の受賞

厚生労働統計調査への協力により、厚生労働大臣感謝状を受けた。

伝達式：令和 6 年 11 月 19 日 東京都庁第一本庁舎

- (4) 地域協議会活動への支援

地域協議会に対して、以下のように財政的支援を実施した。

- 1) 助成金：東京都、山梨県、滋賀県、山形県
- 2) 講師派遣：山形県（荻原正樹氏を紹介、10/4 実施）
- 3) 総会参加：東京都（挨拶；羽染久氏）

2. 調査・研究事業

環境省補助金交付事業

本補助金交付事業は、廃棄物処理施設で得られるエネルギーを有効活用し、エネルギー起源 CO2 の排出抑制を図りつつ当該施設を中心とした自立・分散型の「地域エネルギーセンター」の整備を進め、さらに廃棄物処理施設で生じた熱や電力を地域で利活用することによって、脱炭素化や災害時のレジリエンス強化等にも資する取組を支援することを目的として実施している。令和6年度は、新規事業として11件の他、継続事業20件の合計31件の事業を実施した。

3. 技術支援事業

廃棄物処理関連事業者の方々に対し、当協会の長年にわたる活動実績を活かした廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術支援業務を実施した。

また、（一財）日本環境衛生センターから技術管理者講習講師派遣依頼があり6名推薦した。さらに、講習会運営サポートの依頼を10件受け実施した。

4. 事業推進のための会議等

（1）第15回定時社員総会の開催

日 時：令和6年6月19日

会 場：連合会館

議事等：①令和5年度事業報告（案）の件
②令和5年度決算（案）の件
③令和6年度事業計画（案）の件
④令和6年度予算（案）の件
⑤定款変更の件
⑥会費規程改正の件
⑦その他

（2）理事会の開催

1）第42回理事会

日 時：令和6年5月17日

会 場：連合会館

議事等：①令和5年度事業報告（案）の件
②令和5年度決算（案）の件
③規程類変更の件
④令和6年度評議員・運営委員選出の件
⑤事務所移転の件
⑥その他

2）第43回理事会

開催日：令和7年3月18日

会 場：連合会館

- 議事等：①令和7年度事業計画（案）の件
②令和7年度予算（案）の件
③規程類変更の件
④資産運用計画の件
⑤令和7年度 総会・理事会開催の件

(3) 委員会等の開催

1) 運営委員会：年4回開催

第1回（令和6年5月10日：日本環境衛生センター東京事務所）

第2回（令和6年9月12日：日本環境衛生センター東京事務所）

第3回（令和6年12月6日：日本環境衛生センター東京事務所）

第4回（令和7年3月7日：日本環境衛生センター東京事務所）

議 題：第1回から第4回の会議にかかる主な議題は以下のとおり

- ①組織の運営・管理に関する事項
 - ・事業計画、予算及び決算に関すること
 - ・会員の増強に関すること
 - ・地域協議会の設置、育成、強化に関すること
- ②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
- ③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
- ④会員の表彰等の選考調整に関すること
- ⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

2) 役員選出委員会

第1回（令和6年12月6日：日本環境衛生センター東京事務所）

議 題：令和7・8年度役員選出について

第2回（令和7年3月7日：日本環境衛生センター東京事務所）

議 題：令和7年8年度役員選出について

3) 代議員選挙管理委員会

第1回（令和6年12月6日：日本環境衛生センター東京事務所）

議 題：①選挙管理委員会委員長の選出

②令和7年・8年度代議員選挙について

第2回（令和7年3月7日：日本環境衛生センター東京事務所）

議 題：令和7年度・8年度代議員選挙立候補者の状況について

4) 編集委員会：年1回開催（令和6年11月27日：当協会会議室）

議 題：①令和7年度の環境技術会誌（メルマガを含む）の企画、編集に関すること

②刊行物に係る業務に関すること

5) 論文賞審査委員会：年1回開催（令和7年2月26日：当協会会議室）

議 題：令和6年度「年間論文賞」の審査

5. 事務所移転の実施

令和6年10月、貸主の都合を受けて「東京都大田区大森北四丁目8番1号」から「神奈川県川崎市川崎区日進町7番地1」に当協会事務所を移転するとともに定款を変更した。

なお、移転作業は、9月28日（土）から30日（月）にかけて実施した。

6. その他の事業

「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

7. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行った。

①廃棄物団体連合会など関連団体

②第68回生活と環境全国大会の協賛（会場：神奈川県横浜市 神奈川県民ホール）

③その他関係団体の行事等の協力

8. 組織運営

（1）財政の健全化

1）入会促進

（一財）日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進した。また、廃棄物処理に関係する団体等に対しては、運営委員・理事の協力を得て団体会員及び賛助会員の入会を促進した（賛助会員；令和7年3月末現在 41社）。

2）新規事業の推進

令和6年度事業を実施のうえ、令和7年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）に係る補助事業者（執行団体）業務」に応募し採択され、引き続き令和7年度の新規事業を行うことになった。